

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人子と親の発達支援塾ぽるて 放課後デイサービスえ〜る		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日		2024年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	所内研修や会議が多く、事業所の方針や方向性、利用児への支援などを共有しやすい	振り返りは毎日実施している。 研修は月に一回は実施している	報告、連絡を徹底し、状況の共有化を進める。 外部研修への参加の促進 内部研修の充実
2	ITによる業務改善が進んでいる。 個々の支援が保護者に伝わっている。	毎日の連絡帳の内容を工夫している。	パソコンなどを使いこなすための研修を企画中。
3	敷地内の安全面が整備されている。	日々安全点検を実施している。 毎日の整理整頓を子どもたちと一緒に学んでいる。	事故につながらないようにヒヤリハットなどの報告をこまめにしていくシステムづくりを進める。
4	子どもたちが楽しみに利用している	子どもたちの希望を聞き、取り入れることもしている。 個々の職員の得意なことを全体で取り入れ、多彩なプログラムを作るようにしている。	固定化されないようにゲームのルールを変更したりなど工夫している。
5	保護者に支援を認めてもらっている。	保護者が集まる時に日頃の活動を一緒にして、理解を進めるようにしている。	集まる機会を増やすように計画する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者や兄弟への支援が不十分 一緒に行事が少ない	働く親の後方支援の役割を持っているので、大事だと考えている。 兄弟との関係性が利用児の発達に影響を与えていると考える。 年間計画に取り入れたいが、働く親が多いため、日程調整が難しい。	保護者や親の希望を聞き取る努力が必要。
2	マニュアルの整備が不十分。 利用児の心身の安全の確保が十分とは言えない。	人員不足で、日々の業務に追われている面がある。	定期的に求人している。 支援会議などで、子どもを把握できるようにしていく。
3	職員数が少ない	事務などの業務負担が大きい	職員の人数確保をいろんなメディアを通じてする。 職員が共同してカバーすることも大事と考える。 事業所の方針や方デイの役割などを、職員皆がしっかりと認識できるようにしていく。